

海水浴場
水質も景観も自慢

阿久根大島、大川島、脇本

長い砂浜が続く脇本海岸。初夏はサーファーや潮干狩り客が訪れている

＝阿久根市



「あまり知られていないけど、阿久根は海水浴ナンバーワンのまち」と、阿久根市の職員らは胸を張る。野生鹿に会える阿久根大島、市街地に近い大川島、長い海岸線で知られる脇本と個性豊かな海水

浴場が三つあり、例年、市の人口(約1万8000人)を上回る2万人超が訪れる。

特に高く評価されているのが水質。昨年の調査はいずれも最上の「AA」。阿久根大島と脇本は環

境省の「快水浴場百選」に指定されており、県内3カ所のうち二つを占めた。

市民の自慢は、その景観だ。中でも脇本海岸は遠浅の白い砂浜が南北2.6キロにわたって広がり、青

い波や緑の松林との対比が鮮やか。東シナ海の波が打ち寄せる浜は、海水浴シーズン以外もサーフィンや潮干狩りなど、季節ごとのレジャーを楽しむ人でにぎわう。

海岸そばの宿泊施設ナプーカラのスタッフ、竹崎光希さん(28)は「砂の白さに驚くお客さんが多い。火山灰の影響が少ないこともあるが、地元の人たちが清掃して大切に守ってきたからこそ、美しい景観が保たれている」と説明する。脇本地区では、野生生物が産卵する貴重な場所を守ろうと、NPO法人脇本海岸ウミガメ・シロチドリ会を中心に、住民が環境保護に取り組んでいる。

「大川島は入り江で波が穏やか、阿久根大島は鹿や島ならではの景色と、それぞれに魅力がある。海水浴を楽しみたいなら、ぜひ阿久根に来て」と市商工観光課の青龍昇也さん(34)。今年も7、8月の開設を予定している。

2025年6月1日付12面

【問1】 阿久根市には、個性豊かな海水浴場が3つあります。野生鹿に会える海水浴場は、どこですか。

()

【問2】 脇本海岸は遠浅の白い砂浜が南北2.6キロにわたって広がり、青い波や緑の松林との対比が鮮やかです。海水浴シーズン以外も、何を楽しむ人が多いですか。

()や()など、季節ごとのレジャーを楽しむ人でにぎわう。

【問3】 脇本海岸そばの宿泊施設ナプーカラのスタッフ、竹崎光希さんは、美しい景観が保たれている理由を何と説明していますか。

「砂の白さに驚くお客さんが多い。()の影響が少ないこともあるが、()が()からこそ、美しい景観が保たれている」

【書きましょう】 この記事を読んだ感想を書きましょう。

むずかしい漢字とことば

阿久根(あくね) 胸(むね) 脇本(わきもと) 超(ちょう) 訪(おとず)れ 環境省(かんきょうしょう) 占(し)める 自慢(じまん) 砂浜(すなはま) 鮮(あざ)やか 潮干狩(しおひがり)＝潮がひいた海岸を掘って貝をとること 宿泊施設(しゅくはくしせつ) 驚(おどろ)く 灰(はい) 影響(えいきょう) 産卵(さんらん) 貴重(きちょう)う)